

平成28年度4月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 平成28年4月4日（月）午前11時00分～11時30分

場所 市役所2階第1委員会室

出席 市政記者クラブ12社

会見内容

1 はじめに

■ 本題に入る前に、新年度を迎え最初の記者懇談会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

■ 今年度は、昨年12月に策定した「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の本格的な事業開始年度にあたりますので、力強い経済基盤を構築し雇用の創出などを図り、特に「わかもの」や「女性」の皆さんの希望がかなうまち・くしろを目指し、5つの基本目標に沿ってさまざまな施策を展開してまいります。

これにあわせて、産官学金労言によるフォローアップ体制を構築し、各施策において設定されたKPI（重要業績評価指標）に基づき進捗状況を検証してまいります。

■ また1月29日に国土交通大臣から「観光立国ショーケース」の認定をうけたほか、3月21日には国立公園整備事業「国立公園満喫プロジェクト」の認定候補の一つとなったところでございます。

これらを受けまして、3月21日から22日にかけて、丸川環境大臣や田村観光庁長官が自ら、阿寒国立公園の視察に来られるとともに、昨日から本日にかけて、土井国土交通副大臣が阿寒湖温泉地区をはじめ、釧路市内の観光施設等を視察されており、釧路市の持つ、世界に誇れる観光ポテンシャルに大きく注目いただいているところであります。

■ 今後の5か年は、2020年の東京オリンピックまでの5か年でもあり、地方創生の5か年でもあります。この機を生かして世界に通用する魅力ある観光地づくりをすすめ、地域経済の発展につなげて参りたいと考えております。

2 話題提供（3項目）

1 阿寒インターチェンジ開通後の入込状況について（道路河川課、阿寒地域振興課）

■ 最初の話題です。

先月12日（土）に待望の道東自動車道白糠インターチェンジ～阿寒インターチェンジ間が開通して1ヶ月になろうとしています。

開通当日の開通記念式には230名の方々にご臨席いただいたほか、釧路東インターチェンジで釧路外環状道路の通り初め式、阿寒インターチェンジで道東自動車道の通り初め式が行われ、また、阿寒インターチェンジでの開通式見学ツアーや蝦夷太鼓やヒートボイスのミニライブなど多くの市民皆さまと開通を大いに喜んだところでございます。

- 開通日と翌日の二日間の阿寒マルシェの来場者数は1,000人を超え、その後の阿寒インターチェンジ開通後の平日の入込みは、それまでの約2倍(100人程度)となっています。
- 3月24日に釧路開発建設部から1週間の交通量速報が発表されました。道東自動車道の白糠インターチェンジから阿寒インターチェンジ間の1日の平均交通量が約4,100台で、昨年開通した浦幌インターチェンジから白糠インターチェンジ間も1日平均で約1,000台増え3,700台となっています。
- また、釧路外環状道路は1日の平均交通量が10,500台で、釧路西インターチェンジから白糠方面へ向かう釧路新道においても1日平均で約2,400台増え14,300台となっています。
- 車で訪れる観光客や物流・交通関係の方から、「市街地での経路が増え、移動しやすくなった」、「渋滞が緩和され、走りやすくなった」との声が多く寄せられています。
- 一方、交通の安全に対するご意見も頂いていることから、釧路開発建設部や警察との情報共有を図るほか、市としても安全でわかりやすい標識等の設置などに取り組んでいく予定です。
- 今後とも市民の皆さまや市外からの来訪者に対して、安全で安心できる道路づくりを目指して参りますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

2 平成28年度クルーズ旅客船の寄港予定について(港湾空港振興課)

- 次に話題2です。
4月22日(金)にフォーレンダム(61,214t、237.91m、定員1,404人)が、平成28年度最初の客船として耐震旅客船岸壁に入港します。
- 今年度は延べ14隻のクルーズ船の寄港が予定されております。内訳は、お手元の資料にありますとおり、日本船が2隻4回・外国船が3隻10回となっており、着岸岸壁においては耐震旅客岸壁が8回、西港第4埠頭6回となっております。
- 昨年度より6隻増加し、乗船客と乗組員をあわせると最大3万人を超える方々が来釧される予定です。
- また、クルーズ船の受け入れにおきましては、市民の皆さまや商店街など関係団体による盛り上がりを含めて、地域をあげてお迎えすることが大切であると思っております。

おります。

- 乗客やクルーと市民との交流の場でもある「交流サロン」は、多くの方々にご利用いただいております。受託団体である釧路国際交流ボランティアの会の取りまとめによりますと、1隻あたりの来場者数は平成26年度の94人から平成27年度には217人となっております。市民参加型の受入歓迎体制が進んでいると感じているところです。
- また、今年度は、ホクレン農業協同組合連合会釧路支所様及び東北北海道塗装工業協同組合様のご協力もいただき、倉庫の屋根部分に大きく「ウエルカム トゥ クシロ」の英語表記と「くしろよろしく」のひらがな表記による歓迎メッセージを掲げたところです。
- 今後、受入関係団体、出店業者の皆様を対象に説明会や市内の商店街・振興会の皆さま向けの説明会を開催させていただくほか、「釧路港おもてなし倶楽部」や「釧路観光ガイドの会」などの皆さまと連携し、地域をあげて迎えらるよう取り組んでまいります。

3 ホッキョクグマの導入について（動物園）

- 最後の話題です。
この度、静岡県浜松市動物園からホッキョクグマのオス「キロール」が繁殖のために釧路市動物園に来ることになりました。
- 来園日は4月13日（水）の予定であります。
- キロールは、札幌円山動物園で2008年（平成20年）12月9日生まれ、7歳の若いオスであります。
- 展示につきましては、「キロール」の体調を見ながら公開日を決めていきたいと考えています。
- 繁殖につきましては、「ミルク」がまだ3歳と幼いことから1～2年後と考えております。
- いずれにいたしましても、「キロール」が一日も早く釧路市動物園に慣れるとともに、市民の皆様から愛されるようになることを期待しております。

3 質疑要旨 (質問)

- ・ 阿寒インターチェンジの開通後、利用者が非常に多く、いい話とは思いますが、国道への合流箇所の問題について、改めて関係各所のどのようなところに、どのような言葉で要望を出しているか、また出していくのでしょうか。

(市長)

- ・ まりも国道との合流箇所につきましては、信号機の設置が必要ではないかと、釧路警察署にお話しをされており、開通後もお話をさせていただいています。あわせて、分離帯もスムーズに行くような形で、開発建設部にお話をさせていただいています。
- ・ それぞれの管理箇所がありますし、私どもも、その場に行ってわからないということのないように、市道においては標識等をわかりやすく設置していくようにし、開発建設部、警察署と本市で情報共有しながら取り組んでいきたい。

(質問)

- ・ 特にゴールデンウィークに、初めて通る方がたくさんいらっしゃるようになりますと、やはり早急な改修が必要とお考えですか。

(市長)

- ・ 早めに対応していただきたいと、お願いしているところです。

(質問)

- ・ ホッキョクグマで2点お伺いいたします。貸与期間と、子どもが生まれた場合に第1子、第2子についてはどういう順番で所有権を持つことになりますでしょうか。

(市長)

- ・ 貸与期間は3年間です。
- ・ オスの所有権を持つところに第1子が、メスの所有権のところには第2子が行くということです。今回は、浜松市動物園から来ますが、キロルの所有権は円山動物園ですので、第1子は円山動物園、第2子は釧路市動物園となります。

(質問)

- ・ ホッキョクグマのことですが、円山動物園で生まれて、浜松市動物園にはいつ行ったのでしょうか。

(動物園長)

- ・ まず、2010年2月21日に、帯広市動物園に貸与されており、2011年3月6日に今の浜松市動物園に貸与されています。

(質問)

- ・ ホッキョクグマの繁殖を1年後から予定しているのであれば、その子どもが釧路に来る可能性は低いのではないかという気がするのですが。

(動物園長)

- ・ まずは3年間ではありますが、事情が変わらない限りは自動継続という形となります。
- ・ ホッキョクグマの出産の傾向は、1回に2～3頭というものが通常で、1頭だけということが逆に稀なケースであり、当園所有の機会もかなり高いと考えております。

(質問)

- ・ ホッキョクグマの出産は1年に1回でしょうか。

(動物園長)

- ・ 1年に1回です。

(質問)

- ・ クルーズ船は、一昨年は24隻で、昨年は減りましたが、そこから今年は少し増えております。その要因はどのようなことなのでしょう。

(市長)

- ・ クルーズ船の誘致は毎年行っております。
- ・ 船会社は、2年前からプランニングされるということで、地元の行事等を先に確定しながらアプローチしているところであります。
- ・ 入港時とイベントは、なかなか合致することはないのですが、霧フェスティバルに合わせて「飛鳥Ⅱ」が入港したことや、大漁どんぱくに合わせて「ぼしふいっくびいなす」が入港したことはありました。
- ・ 船会社が、行先を決めるということが常でしたが、最近では、船側の空いているスケジュールを、旅行会社等がスポット的に動かすこともあります。
- ・ 一昨年の24隻の際の「ダイヤモンド・プリンセス」「サン・プリンセス」が、オーストラリアへ行先等が変更したことによって減った形となっております。
- ・ 釧路へ入港する魅力は引き続き高いということでもありますので、来年、再来年に向けて、本市のスケジュールが決まった各種イベントを船会社に紹介し、また、旅行代理店等にも情報提供をし、短期的な部分にも対応をしていきたいと考えております。

(質問)

- ・ 阿寒インターチェンジについて、市として、安全でわかりやすい標識等の設置

等に取り組む予定と説明をいただきましたが、具体的にはどのような場所に、どのような標識を立てたいとお考えでしょうか。

(市長)

- すぐに対応するとなれば、交差点等に立てていくことを想定するのですが、カーナビが、どの経路で高速道路まで案内するのか等を調査し、必要な標識等の設置対応を検討しているところであります。

(事務局)

- カーナビ会社によると、毎年、秋頃に年1回更新データを発売しており、その基になるデータは、約2年前のデータを用いているとのこと。
- 現在は、白糠インターチェンジが入ったものも売られていない状態です。
- 今年の秋過ぎ頃には、白糠インターチェンジは反映される予定で、阿寒インターチェンジについては、平成29年の秋頃以降のカーナビに入ってくるものと想定されます。
- レンタカー会社では、ナビに反映されるまでは、図面を利用者に提供している状況です。

(質問)

- 先週のことですが、旭町公園で遊具の場所に釘が100本程見つかるという事件がありました。利用者がたまたま見つけ、けが人はなかったのですが、これからの時期、雪も無くなって公園で遊ぶ人も増えてきます。遊具の点検等、毎年行われていると思いますが、改めて公園での安全を確保するために、どのようなことが必要とお考えでしょうか。

(事務局)

- 春先には、公園緑地課が指定管理でお願いしている公園緑化協会が、点検を行います。その他に、定期的な点検を随時しています。

(質問)

- 今回は、個別の公園の事例ではありますが、改めて一斉に点検しようというお考えはありますでしょうか。

(市長)

- 通常どおり、雪解け後の清掃や、遊具等の点検を行うと認識しておりますので、新たなことは考えておりません。

(質問)

- 先日、自民党釧路支部の方で、市長の4年間の検証の結果を出したようなので

すが、ご覧になりましたでしょうか。新聞等の内容につきまして、どのような感想をお持ちになりましたでしょうか。

(市長)

- どのような内容のものなのか、見ておらずわからないものですから、何とも言いようがありません。

(質問)

- 夏に参議院選挙があります。今、各党で候補予定者が何人か立っていますけれども、元々、自民党道議ご出身ということもありますが、今後、選挙運動が始まったら、市長として、この方を応援するとか、こういう形で支えていきたいという方がいらっしゃるのでしょうか。

(市長)

- 色々な方々が地元に来た際には、選挙前の集まりであれば、要請があった場合には参加させていただくというスタンスでおります。
- それぞれの方や、関係者の方々にお話しをしながら、多くの方が投票に行っただけのよう、投票率を上げていくということが、私どもの大きな責務になっていると考えております。